

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					5554	廃棄物の不法投棄・不適正処理の監視指導事業				環境部	5 R推進課
1 事業概要		中事業番号		1595								所属コード	182000
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図（目的）	
大綱（取組）	V「暮らしやすいまちの未来」	11.6 14.1	○	4-1							監視カメラや啓発看板を不法投棄多発地区に設置するとともに、市内の監視パトロールを実施する。また、管内警察署の協力を得て主要道路に検問所を設置し、産業廃棄物運搬車両等の検査・確認を実施する。	市内における不法投棄を抑止するため、監視体制の強化を図り、廃棄物不法投棄等の早期発見や不適正処理の未然防止に努め、市民の生活環境の保全を図る。	
施策	1 環境にやさしく自然豊かな、住んでいてよかったなと思えるまち												

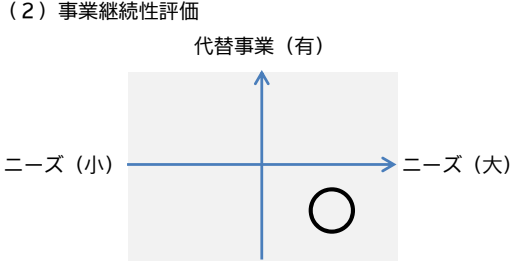
事業開始時周辺環境（背景）	現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
山間部など人目に付かない場所や深夜・早朝の時間帯などを狙って、廃棄物の不法投棄事業が多数発生していた。（最多：平成15年度198件）	監視カメラ設置場所については、その後不法投棄は見られず、効果があるわれている。 また、市による検問事業の周知度も高くなり、不法投棄等不適正処理は減少している。	監視カメラの設置や休日・夜間の監視パトロールの実施など、未然防止策を講じることにより、不法投棄の抑止効果が期待される。 また、不法投棄等不適正処理は、広域化、悪質・巧妙化していることから、本事業の必要性が高まる。	廃棄物の不法投棄や不適正処理の未然防止が、環境保全上重要であるという認識は市民に定着しており、そのために必要とされる対策強化も望まれている。

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
対象指標	市内全域	k m 2		757		757		757								
活動指標①	監視カメラ設置箇所数	ヶ所	22	16	22	22	22	24	22		22		22	22		
活動指標②	検問所の設置数	ヶ所	2	1	2	2	2	1	1		1		1	1		
活動指標③	不法投棄等監視パトロール（委託）	回	240	180	240	200	240	160	240		240		240	240		
成果指標①	不法投棄・不適正処理指導件数	件	48	101	48	101	48	111	100		100		100	100	48	48
成果指標②	適正処理の指導件数（検問時）	件	2	3	2	0	2	1	1		1		1	1	2	2
成果指標③	適正処理の啓発件数（検問時）	件	29	9	29	9	29	8	15		15		15	15	29	29
単位コスト（総コストから算出）	不法投棄件数（H15:198件）からの減数 1件当たり	千円		207		311		194	322		322		322	322		
単位コスト（所要一般財源から算出）	不法投棄件数（H15:198件）からの減数 1件当たり	千円		89		192		90	207		207		207	207		
事業費		千円		11,421		12,005		11,608	12,832		12,832		12,832	12,832		
人件費		千円		8,659		19,410		9,901	19,410		19,410		19,410	19,410		
歳出計（総事業費）		千円		20,080		31,415		21,509	32,242		32,242		32,242	32,242		
国・県支出金		千円		11,421		12,000		11,500	11,500		11,500		11,500	11,500		
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		8,659		19,415		10,009	20,742		20,742		20,742	20,742		
歳入計		千円		20,080		31,415		21,509	32,242		32,242		32,242	32,242		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費（事業費・人件費）分析結果	
監視カメラ設置台数は行政センター等の要望を取り入れて24台を不法投棄多発地区に設置・運用するとともに、監視体制の強化を図るため、福島県産業廃棄物交付金を活用して、休日を含む昼夜間の不法投棄監視業務委託（監視パトロール160日）を実施した。 また、国道49号に検問所を設置し、産業廃棄物収集運搬車両の検査と適正処理の指導、悪質運搬車両の摘発及びドライバーに広報誌、グッズ等を配布して産業廃棄物の不法投棄・不適正処理防止の啓発活動を実施した。	監視カメラ設置台数は行政センター等の要望を取り入れて24台を不法投棄多発地区に設置・運用するとともに、監視体制の強化を図るため、福島県産業廃棄物交付金を活用して、休日を含む昼夜間の不法投棄監視業務委託（監視パトロール160日）を実施した。	【事業費】 産廃税交付金の活用による例年通りの予算内で不法投棄監視パトロール委託、啓発グッズ等の購入を行っている。	【人件費】 課内の人員配置変更により、1人減となったため、人件費が減少した。

### 3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価			
1 規模・方法の妥当性		4	
2 公平性		4	
3 効率性		4	
4 活動指標（活動達成度）		3	
5 成果指標（目的達成度）		3	



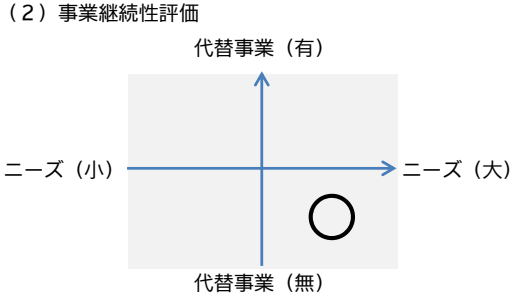
継続	一次評価コメント
	廃棄物の不法投棄・不適正処理の監視指導業務については、これまでも計画どおり事業を推進しており、カメラ設置、監視パトロール、検問事業による不法投棄・不適正処理の抑制効果が確認されている。 今後についても、市民の快適な生活環境を維持するため、積極的な不法投棄・不適正処理防止の啓発及び監視指導に務めていく。

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
	○	○

### 4 二次評価

(1) 事業手法評価			
1 規模・方法の妥当性		4	
2 公平性		4	
3 効率性		3	
4 活動指標（活動達成度）		4	
5 成果指標（目的達成度）		4	



継続	二次評価コメント
	令和6年度は関係各所からの要望を受け、監視カメラを新たに2箇所増設するとともに、不法投棄等監視パトロールを実施した。不法投棄等監視パトロールについては回数が前年度を下回ったが、パトロールを強化することで、不法投棄・不適正処理指導件数が微増しており、強化したパトロール手法を今後も継続して実施することが不法投棄・不適正処理の減少につながると期待される。検問所については関係機関との調整の結果、一年に一度の開催となったため、検問時の指導件数及び啓発件数も計画値を下回ったが、検問に併せて啓発活動を実施し効果的に取組んだ。 市民の生活環境の保全のため本事業は重要であり、廃棄物不法投棄等の不適正処理を未然に防止するため、継続して事業を実施する。

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画